

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (12) 事業規模拡大に際したコンサルティング機能の発揮
JA鈴鹿・三重県信連(三重県)

新規	継続
○	(年 月)

1 動機(経緯)	当社は、抹茶の原料となる碾茶 ^{てんちや} （蒸し製緑茶の一種、抹茶の原料）を生産する農業法人です。元々は荒茶 ^{あらちや} （製茶工程のうち蒸熱、揉捻等の工程を経て乾燥された段階のもの）の生産を主業としていましたが、消費者のリーフ茶離れが進み、荒茶価格の低迷が深刻化するなか、今後の経営安定化と収益性向上を図ることを目的に、2017年に荒茶から碾茶製造へと事業内容を切り替えるとともに、法人化を行いました。
2 概要	今般、碾茶工場の規模拡大に向け、工場増設の計画を検討していたところ、JA鈴鹿（メインバンク）と三重県信連が連携のうえ、資金計画の策定を支援し、協調融資を実施しました。また、自社碾茶を使用した加工品の開発にも積極的であったことから、商品の販売先や、PR資材の調製先とのビジネスマッチングの機会を提供しました。
3 成果(効果)	当社の「抹茶」は、総レンガ造りの炉で乾燥させた碾茶を石臼で挽き粉末状にしたもので、茶葉の品質が高く、華やかな香りが特徴です。世の中には様々な形態の抹茶が流通していますが、本来の抹茶と粉末緑茶とは全くの別物と言えます。JAバンクとして、日本の伝統的文化である抹茶の普及に貢献するとともに、今回の設備投資が当社経営の安定化と六次化事業の発展に繋がることに期待を寄せています。
4 今後の予定	今後も、金融面での資金対応のみにとどまらず、六次化新商品の企画・開発に関しても支援を継続していきます。